故障かな?と思ったら…。

保 存 版

TS-JP-PM9633-02

ケース 1 トップカバーがカチッと音がするまで閉められない / コーヒータンクをカチッと音がするまで押し込めない

そんな時は、コーヒータンクを取り外して、コーヒータンク計量器と本体の穴の位置を正しい位置に戻してください。☞取扱説明書 P.20 ～ 22

1 まず、コーヒータンク計量器を立てた状態で、穴が 0 時の位置（正しい位置）にあるかどうか確認します。

2 穴の位置が 0 時の位置にないときは、反時計まわりに回し、0 時の位置に合わせてください。このときカチッと音がします。

3 本体の穴の位置を確認してください。
・本体の穴の位置が 0 時の位置にある場合➡手順**4**
・本体の穴の位置が 0 時の位置にない場合➡手順**7**

4 コーヒータンクをカチッと音がするまで本体に押し込みます。トップカバーをカチッと音がするまで閉めます。すべてのメニュー表示が緑色点灯に変われば完了です。正常にご使用いただけます。

・メンテナンス表示が赤色点滅になった場合➡手順**5**

5 大きめのカップをコーヒー抽出口の下に置いてください。

6 エスプレッソタイプコーヒーメニューに触れると抽出が始まり、メンテナンス表示が消えます。抽出が終了し、すべてのメニュー表示が緑色点灯に変われば完了です。正常にご使用いただけます。

7 コーヒータンクを本体に静かに置きます。この時のパネル表示は、エスプレッソタイプコーヒーメニューが緑色点滅、電源ボタンが赤色点灯です。

8 大きめのカップをコーヒー抽出口の下に置いてください。

9 コーヒータンクを手前に傾けると、エスプレッソタイプコーヒーメニューが緑色点滅から緑色点灯に変わり、リンス表示が赤色点滅します。

10 左手でコーヒータンクを手前に傾けたままでエスプレッソタイプコーヒーメニューに触れると、抽出が開始されます。抽出が終了するまで、コーヒータンクを左手で手前に傾けたままにしてください。
・途中で左手を放してしまった場合➡手順**9**

注意：コーヒータンクが少し揺れますが、抽出が終わるまでコーヒータンクを傾けた状態を保持してください。

11 抽出が終了すると、本体の穴が正しい位置に戻ります。コーヒータンクをカチッと音がするまで本体に押し込みます。トップカバーをカチッと音がするまで閉めます。すべてのメニュー表示が緑色点灯に変われば完了です。正常にご使用いただけます。

途中でコーヒータンクを押し込んだ場合は、左下のように、リンス表示が赤色点滅のままになります。この場合は、再度エスプレッソタイプコーヒーメニューに触れて抽出してください。抽出が終わるとすべての表示が緑色点灯に変わり、正常にご使用いただけます。

ケース 2 メニューを押しても、お湯しか出てこない!? “コーヒータンク”にコーヒーパウダーはちゃんと入っているのに

そんな時は、コーヒーパウダーが固まっている可能性があります。
コーヒータンク、コーヒータンク計量器、撹拌部、スライダーカバーが汚れていないかどうか確認し、必要に応じて洗浄してください。
コーヒーパウダーが固まることを防ぐために、撹拌部、ドリップトレイ、給水タンク、ドロワーは毎日洗浄、コーヒータンクは空になったタイミングでお手入れを。☞取扱説明書 P.12～15

コーヒータンク・撹拌部の洗浄とお手入れ

※洗浄の際、食器洗い機は使用できませんので、ご注意ください。

コーヒータンクの分解方法

1 コーヒータンクを逆さに持ち、黒い計量器全体を反時計回りにカチッと音がするまで回します。

2 計量器プレートNo.1がコーヒータンク透明部分の上から落ちないように、コーヒータンクを水平に持ちます。黒い計量器をゆっくり持ち上げると、計量器の底の部分が外れます。計量器プレートNo.1は、コーヒータンク透明部分の上に乗った状態になります。

3 計量器の底の部分を両手の手のひらで挟み、「OPEN/開」の矢印の方向にカチッと音がするまでしっかり回します。

4 空いている穴に指をかけて、回転した部分を持ち上げます。計量器の底の部分が、計量器底板No.2と計量器本体No.3に分解されます。

5 3つの部品が分解されたか確認します。

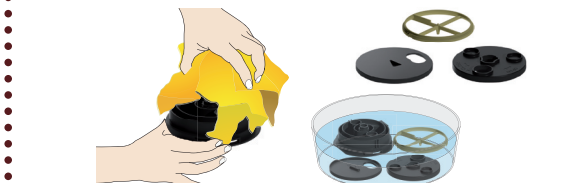
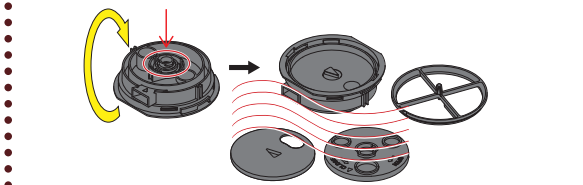
6 コーヒータンクを安定した机などに置き、しっかり押さえながらコーヒータンクキャップを反時計回りに回して外します。

7 コーヒータンクから十字プレートを引き抜きます。

お手入れ方法 <透明部分>

コーヒータンクの部品は、柔らかい布で汚れをふき取ります。
※水洗いはしないでください。

洗浄・乾燥方法 <計量器>

1 乾いた布で汚れをふき取ります。汚れが取れない場合はぬるめのお湯でつけ置き洗いをします。まだコーヒーが付着している場合は軽くこすって汚れを落とします。

2 特に計量器本体の矢印の部分は良く水を切った後、下に向けて置いて、一昼夜乾かしてください。
※水分が残るとコーヒーパウダーが固まることがあります。

※変形の恐れがあるため乾燥機にかけないでください。

コーヒータンクの組み立て方法

1 まず完全に乾いていることを確認してください。No.3計量器本体とNo.2計量器底板の▼マークを合わせてはめ込みます。（No.2計量器底板の「OPEN/開」「CLOSE/閉」の表記が上になります。）

2 両手のひらで挟み、カチッと音がするまで「CLOSE/閉」の矢印方向に回してロックします。

3 計量器本体をひっくり返して、計量器本体とプレートの▽(三角)の突起部分どうしを合わせます。

4 十字プレート中央の突起部をコーヒータンクの内側に向け凹凸部を合わせてはめ込みます。（十字プレートの向きにご注意ください。）

5 コーヒータンクキャップを時計回りに回して閉めます。

6 コーヒータンクと計量器の突起の「大」「小」を合わせてはめ込みます。計量器を底面に、しっかりと持ってコーヒータンク透明部分が止まるまで時計回りに回して閉めます。

撹拌部のお手入れ方法

1 青色のロックハンドルが下がっていることを確認してから、撹拌部を引き出します。※汚れがあると、固くなって外れにくいことがあります。

2 スライダーカバーの左右を内向きに押しながら引き出します。※汚れがあると、固くなって外れにくいことがあります。

3 撹拌部の中からフィルターを取り出します。次に、撹拌部の下部のレバーのロックを引き下げながら、外します。

4 ドロワーとスライダーカバーは、ぬるめのお湯で洗い流し、柔らかい布で水気をふき取ります。

5 フィルターは破れないようにやさしく洗います。フィルターが破れると泡立ちが悪くなることがあります。

6 撹拌部は、ぬるめのお湯に2分以上つけ置きします。まだコーヒーが付着している場合は、軽くこすって落とします。

7 水気を切ります。

ケース 3 エラー表示ではないが…抽出量が多い、または少ない。

そんな時は、湯量調整のリセット（初期設定に戻す）を行ってください。☞取扱説明書 P.11

1 本体の電源がオフになっていることを確認します。

2 カプチーノメニューに触れたまま電源ボタンを押し続けます。

3 すべてのメニュー表示が緑色の速い点滅になったら、指を離します。

4 電源ボタンが緑色点灯になったら、リセット完了です。

barista_TAMA_PM9633 Y M C B